

<p><研究課題名></p>	<p>D-0805 (自然-02)</p>	<p>航空レーザ測量データを用いた景観生態学図の作成と生物多様性データベース構築への応用</p>		
<p><研究概要></p> <p>航空レーザ測量等により把握された詳細な地形データや植生三次元データを用いて、原始的な自然環境と里山環境において、景観生態学的視点から様々な解析を実施してその結果を景観生態学図として整備し、生物多様性に関連するデータベースの統合化を行う。また、既存の動植物分布情報等と組み合わせて、対象地域の生物多様性を評価する手法を開発する。</p> <p>(1) 詳細地形データを用いた景観生態学図作成に関する研究 自然遺産地域などある程度のまとまりのある地域において、航空レーザ測量による微地形分類図と植生三次元構造を組み合わせて、ルーチ的に景観生態学図を作成する手法を開発する。</p> <p>(2) 原始的な自然環境における景観生態学図の生物多様性評価への応用に関する研究 原始的な自然地域の代表例として知床半島を取り上げ、航空レーザ測量により作成された景観生態学図に、野生生物の分布情報等を加え、保全戦略の重要な基盤情報を整備すると共に、生物多様性情報の統括を試みる。</p> <p>(3) 里山環境における景観生態学図の生物多様性評価への応用に関する研究 里山環境地域の代表例として中国山地を取り上げ、航空レーザ測量データから鉄穴流し跡の地形と植生を抽出し、両者の関係を明らかにする景観生態学図を作成する。そして、人間による干渉行為が野生生物の生息環境に与える影響について検討する。</p>				
<p><研究代表者></p>		<p>小荒井 衛</p>		<p>国土地理院 地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室室長（48才）</p>
<p>No.</p>	<p>サブテーマ名</p>		<p>氏名</p>	<p>所属機関名・部局・役職名</p>
<p>(1)</p>	<p>詳細地形データを用いた景観生態学図作成に関する研究</p>	<p>◎</p>	<p>小荒井 衛 乙井 康成 中埜 貴元</p>	<p>国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室室長 国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室主任研究官 国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室研究官</p>
<p>(2)</p>	<p>原始的な自然環境における景観生態学図の生物多様性評価への応用に関する研究</p>	<p>○</p>	<p>吉田 剛司 山下亜 紀朗</p>	<p>酪農学園大学環境システム学部生活環境学科 准教授 酪農学園大学環境システム学部地域環境学科 講師</p>
<p>(3)</p>	<p>里山環境における景観生態学図の生物多様性評価への応用に関する研究</p>	<p>○</p>	<p>長澤 良太 日置 佳之</p>	<p>鳥取大学・農学部生物資源環境学科・教授 鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター教授</p>